

鹿児島県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和4年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	奄美市	86,732,345	EPN 86,400,000	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 127,800	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 68,400
2	薩摩川内 市	10,237,311	EPN 9,672,000	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド 414,000	コバルト及びその化合物 71,340
3	志布志市	1,056,044	EPN 1,056,000	マンガン及びその化合物 41	ほう素化合物 3
4	南九州市	630,815	EPN 624,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 3,740	カドミウム及びその化合物 1,100
5	伊佐市	342,919	EPN 144,000	ニッケル化合物 115,000	ほう素化合物 42,942
6	霧島市	307,508	EPN 168,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 91,290	ニッケル化合物 30,500
7	出水市	266,815	EPN 216,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 46,070	亜鉛の水溶性化合物 3,950